

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		神経病態生理学Ⅲ研究		小野 成紀
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
(1) 脳神経外科学がどのように発展し、研究されてきたかを研究論文などを通じて理解する。 (2) 研究と実際の臨床がどのように結びついているかを理解する。 (3) 独自で課題を探求し、仮説を立て、検証に至るまでの科学的方法論や考え方を知悉し、自己解決能力を養う。				
授業到達目標				
(1) 脳神経外科学が救急や手術の現場でいかに応用されているかを学習し、その歴史を説明できる。 (2) 神経科学や神経解剖など基礎的知識が、臨床でどのように脳神経外科に応用されているか説明できる。 (3) ディスカッション、プレゼンテーションなどの方法を学ぶ。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	火	16:00 - 17:00	小野 成紀	脳神経外科における論文渉猟方法、研究の仕方総論について
毎週	水	16:00 - 17:00	小野 成紀	頭部外傷、脳神経救急における論文検索、論文発表
毎週	金	16:00 - 17:00	目黒 俊成	脳血管障害の論文検索、論文発表
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
1週間ごとに読んだ論文についてのサマリーと解説を発表し、助言・指導を行う。				
教科書				
ISBN-9784765315302, 脳神経外科学 (改訂 12 版), 太田富雄, 金芳堂, 2016				
参考書				
ISBN-9783136448014, Microneurosurgery Volume1, Mahmut Gazi Yasargil, Thieme, 1984				
準備学習 (予習・復習等)				
興味ある脳神経系論文 10 編を検討しておく。(10 時間程度)				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
(1) 独自で問題提起ができ、仮説を立脚し、論文検索や理論の構築ができる。 (2) ディスカッションにおいて、さまざまな質疑的確に応答できる。				
注意事項・メッセージ				
英語に慣れて論文を理解し、論理を構築していく過程を世界的視野から学ぶ。				